

第17回「寿都町対話の場」開催（9月5日）

- 文献調査の評価の考え方について、NUMOよりご説明し、会員のみなさまからのご意見・ご質問に対して、回答しました。

現在、寿都町では安全な地層処分が可能かどうかを評価する調査として、地域独自の文献・データを収集して、活断層や火山がないかなどを詳しく調べる「文献調査」を実施しています。

この「文献調査」を進める上での基準となるのが、以下の3つの考え方になります。

1. 最終処分法で定められた要件に照らした評価

- 活断層や火山などについて調べ、著しい影響を受ける場所を避けます。

2. 技術的観点からの検討

- 地下の状況について整理し、どの地層がより好ましいかなどを検討します。

3. 経済社会的観点からの検討

- 処分場の選定や選定のための調査を行う際の、法律などによる土地の利用制限や、考慮すべき点について整理します。
- 具体的には、国土利用計画法に基づき、国立公園に指定されているかなどの調査を実施します。

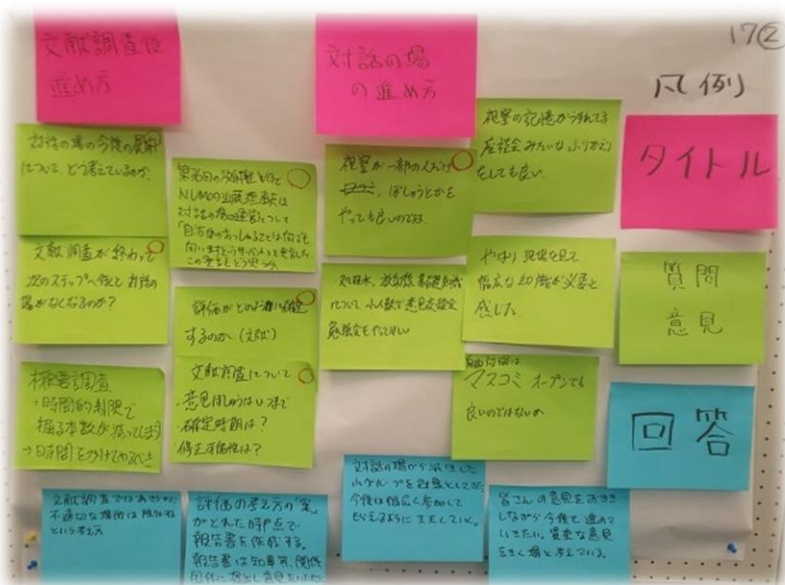
※上記1及び2について、第14～16回対話の場にてご説明しました。
3については、今回第17回対話の場にてご説明しました。



第17回「対話の場」の様子

会員からのご意見・ご質問 ~抜粋~

- 説明が難しい。対話の場に参加していない町民にもわかる資料が必要。
⇒わかりやすい表現や資料作りに配慮したいと考えています。
- 文献調査が終了し、次のステップへ行くと対話の場がなくなるのか？
⇒皆さんのご意見をお聞きしながら、今後も続けていきたいと考えています。
- 土地の利用制限については、寿都では縛りが無いということの良いのか？
⇒現段階では、明らかに除外すべき区域はありません。
- ガラス固化体を埋めた後の土地はどう利用するのか？
⇒今後の事業の進展に応じて、関係自治体等と協議していきます。
- (地層処分場建設の) 地点には、住宅地を避けるなど配慮するのか？
⇒国土利用計画法に基づいた中で、環境に配慮して対応します。



いただいたご意見やご質問は、NUMO寿都交流センターに掲示してあります。
(NUMOホームページでもご覧いただけます。)

「対話の場」における配付資料や映像などは、NUMOホームページおよびNUMO寿都交流センターでご覧いただけます。また、記録したDVDもご用意しますので、ご希望の方はお気軽に、寿都町対話の場事務局（NUMO寿都交流センター）までお問い合わせください。



原子力発電環境整備機構(NUMO)
<https://www.numo.or.jp>

■NUMO トップページから、以下の順にクリックしてください。
「地層処分について」→「調査の状況と対話の記録」→「北海道寿都町」→
「対話の場」→「2023年9月5日 第17回」

NUMOホームページはこちら

NUMO

検索

お問い合わせ先：原子力発電環境整備機構 NUMO寿都交流センター E-mail：suttu@numo.or.jp

〒048-0401 寿都町字新栄町113-1 (TEL)0136-75-7576 (FAX)050-3512-1728

(開館時間：平日10時～17時)